

<第1回>

7H7004 ダミオン

～体型で新たな標準を定める種雄牛～



ホルスタインジャーナル誌 2011年9月号



7H7004 アーブエーカーズ ダミオン本牛 EX96-11YR

今日のホルスタイン種をリードする体型改良のスペシャリストの1頭はアーブエーカーズ ダミオンである。オハイオ州のセレクトサイアーズに繋養されているこの雄は“デリア”ファミリーから産出された系統繁殖牛で、彼の体型指数の高さとショウで勝てる体型の伝達能力故にカナダでは極めて高い人気を博している。

今日めったに見られない所謂兄弟と姉妹の交配で作られ出された種雄牛である。彼の父は 7H5157 レーガンクレスト エルトン **ダーハム-ET**(EX-90-USA-GM)で母はダーハムの母方妹のエンコアを父

に持つレーガンクレスト エンコア **ダリア-ET**(VG-89-USA)である。父母共にかの有名繁殖牛であるスノー エヌ デニセス **デリア**(EX-95 -2E-USA-GMD-DOM-5*)の産子である。デリアはアイオワ州ウォーコンのレーガンクレスト牧場で世界にその名を轟かせた超有名牛である。1998年、イリノイ州のアーブエーカーズのオーナー、ジョン アーブセンはプレイリーステート セレクトサイアーズでセレクト メイティング サービス (SMS/WMS) の評価員をしていて、イリノイ州セールに出す牛を探していた。レーガンクレストのフランク レーガンの説得してデリアから生まれたエンコアの仔牛をセールに出すことを納得させた。アーブセンはセール会場でこの仔牛に惚れ込み購買に成功した。この仔牛こそダリアだった。彼は後日この牛にダーハムを掛け合わせダリアが2歳級で産出したのが2000年7月23日生まれのアーブエーカーズ ダミオンである。

ダミオンが誕生した時父親のダーハムは当時の体型伝達のエリート種雄牛になっていて、デリアの系統繁殖によりこのファミリーの持つ体型伝達能力の優れた遺伝子を更に増幅することが期待できたのである。セレクトサイアーズのサイアアナリストのスコット カルバートソンがダミオンを人工授精所に購買した。カルバートソンは後に以下の様に述懐している。“ダミオンの繁殖上の価値は全てダミオンのブ

リーダーに負うべきと思うが、私はセレクトサイアーズがこの仔牛を購入させてくれたその先見の明を大変嬉しく思う。ダミオンはここ数年唯一の兄弟掛けの種雄牛かもしれないが、私にはこの交配は納得できるものであった。同じ年の全検定牛の中でダミオンは両親の予測体型能力 No.1 であったが、検定済みになってその予測通りの伝達能力を示している。”

ダミオンは米国とスイスでセレクトサイアーズの P G A プログラムの下で検定された。米国では 2005 年 8 月に初めての成績が出て体型指数では No.2 でデビューを飾った。同年 11 月の成績では体型 No.1 となりその後 3 回の成績と 2008 年 1 月とで 1 位の座を守った。2005 年の最初の成績以来米国では体型指数でトップ 10 から 1 度も外れたことがない。1 位が 5 回と 2 位が 6 回であった。彼は現在 PTA(予測伝達能力)体型+3.17 で 9 位である。スイスでも際立った体型伝達能力の指数が出ていて大変人気のある種雄牛となり、既に多数の EX の娘牛がいる。

ここカナダではダミオンの最初の成績は 2010 年 1 月に出た。その時体型リストでは No.2 で既にスペリア タイプ (SP)の称号を授与されている。以来トップ 10 を維持し最近の 8 月の成績ではタイプ+16 で 8 位タイの位置にいる。体型部位ごとの数値も確かなもので、乳器+13,四肢+12, 乳用強健性+14,尻+12 である。カナダでの 1757 頭の体格審査済み娘牛の何と 90%が GP 以上で 23 頭の EX、633 頭の VG、923 頭の GP である。1836 頭の搾乳牛の泌乳能力は成牛換算平均で 11,496kgM 3.5%F 3.2%P(217-209-224)である。

セレクトサイアーズのホルスタイン種雄牛選定部門のマネージャーであるチャーリー ウイルによると、ダミオンはどんな雌に交配しても子供たちの体型パターンには彼の優れた伝達力が顕著に現れる。“彼の娘は幅があり、肋の深みがあり、体全体に幅が出て背線はストレートで、素晴らしい乳器は前乳房が腹壁にしっかり付着し後乳房は広くて高く付着している。ただ、後肢は直肢気味になりがち



ライリーヘブン ダミオン ルル VG-89



ルイスデール イーストサイド オータム VG-88



HBC フリオーラ VG-88



HBC アイモータル VG-88

だが蹄床は厚い。推奨できる交配は高泌乳で、デイリーで首が細く長めの牛に適している。首や顔が多少短めに出る可能性がある。”

セレクトサイアーズのサイアーアナリストのブライアン ギャリソンはこの雄について、“セカンドクロップ娘牛が加わったことでダミオンが更に獲得した農家の信頼は、彼の伝達能力の一貫性によるものと感じている。ダミオンは乳器の改良能力が抜群で、若々しい乳房にその形状の良さ、靱帯の強さ、乳頭のサイズや配置の正確さ等が顕著である。現在の世界中の多くのホルスタインに必要な体の幅や力強さ、体積においてダミオンはそれらを補完する能力がある。”



フィッシャーデール ダミオン リアリティィー

ウイルもギャリソンも信じてやまないのは、ダミオンはゴールドウインの娘や孫娘にとっては将に神の作れし黄金の組み合わせとでも言えることだ。更にウイルはこの交配は別格の組み合わせだとも言っている。ダミオンの娘は世界の何処でも同じに見えるがカナダではゴールドウインやゴールドウインの息牛たちの娘牛が多いことから、カナダのブリーダーはこの夢のマジッククロスで世界的大ヒットを放つ有利性を持っているとウイルは付け加えている。



WORLD WIDE SIRES, LTD. YOUR FOUNDATION...YOUR FUTURE